

令和3年12月25日発行

社会福祉法人 泰仁会
特別養護老人ホーム「やさと」
石岡市小倉442-1
TEL (0299) 43-0811代
特別養護老人ホーム「桜の郷 元気」
東茨城郡茨城町桜の郷 231-7
TEL (029) 292-3900代

令和2年度決算報告

貸借対照表

令和3年3月31日

貸借対照表表
資産の部: 流動資産 332,382,803, 固定資産 2,692,468,877
負債の部: 流動負債 205,907,739, 固定負債 905,739,025
純資産の部: 基本金 162,034,792, 国庫補助金等特別積立金 518,155,897, その他の積立金 34,355,000, 次期繰越活動収支差額 1,198,659,227, うち当期資金収支差額 -19,846,907
純資産の部合計 1,913,204,916
資産の部合計 3,024,851,680
負債及び純資産の部合計 3,024,851,680

事業活動計算書

(自)令和2年4月1日~(至)令和3年3月31日

事業活動計算書表
勘定科目: サービス活動収益 1,321,404,322, サービス活動費用 1,346,308,255, サービス活動増減差額 -24,903,933, サービス活動外収益 10,973,397, サービス活動外費用 12,551,549, サービス活動外増減差額 -1,578,152, 経常増減差額 -26,482,085, 特別収益 55,590,904, 特別費用 48,955,726, 特別増減差額 6,635,178, 当期活動増減差額 -19,846,907, 前期繰越活動増減差額 1,170,547,134, 当期末繰越活動増減差額 1,150,700,227, その他の積立金取崩額 47,959,000, その他の積立金積立額 0, 次期繰越活動増減差額 1,198,659,227

資金収支計算書

(自)令和2年4月1日~(至)令和3年3月31日

資金収支計算書表
勘定科目: 事業活動収入 1,332,377,719, 事業活動支出 1,257,243,941, 事業活動資金収支差額 75,133,778, 施設整備等収入 386,381,904, 施設整備等支出 295,620,126, 施設整備等資金収支差額 90,761,778, その他の活動収入 51,831,309, その他の活動支出 12,462,974, その他の活動資金収支差額 39,368,335, 予備費 0, 当期資金収支差額合計 205,263,891
前期末支払資金残高 19,601,041
当期末支払資金残高 224,864,932



芸術の秋 (デイサービスやさと)

令和2年度事業報告

◇利用状況 やさと

利用状況表
特別養護老人ホームやさと 25,877人
ショートステイやさと 4,569人
デイサービスやさと 8,213人
ケアプランセンターやさと 1,230件
ケアハウスやさと 5,319人
在宅介護支援センターやさと: 相談件数 440件, 実態把握 159人, 生活機能評価 100人, 家族介護者等交流会 13人, 介護予防教室 392人
グループホーム さわらび 6,509人
国府あおい: 宿泊 2,738人, 通所 3,057人, 訪問 3,504人
事業所内託児所 こぎつねの郷 1,525人

桜の郷 元気

桜の郷 元気表
特別養護老人ホーム桜の郷 24,442人
ショートステイ桜の郷 3,767人
デイサービス桜の郷 8,791人
ケアプランセンター桜の郷 1,039件
ケアプランセンター桜の郷(予防) 139件
シルバーハウジング: 安否確認 10,250件, 相談件数 38件, 緊急時対応 3件
桜の郷元気ひたちの長岡: ショートステイ 6,063人, デイサービス 4,135人, 総合事業 686人

◇リスクマネジメントの取り組み状況

リスクマネジメント表
やさと: 事故報告件数 282件, ヒヤリハット報告件数 3,183件, ご意見・苦情件数 7件, やむを得ない身体拘束件数 2件
桜の郷 元気: 事故報告件数 142件, ヒヤリハット報告件数 1,199件, ご意見・苦情件数 7件, やむを得ない身体拘束件数 0件

◇有資格者数 (令和3年3月31日現在)

有資格者数表
やさと: 介護福祉士 51人, 社会福祉士 5人, 介護支援専門員 15人, 正看護師 7人, 准看護師 8人
桜の郷 元気: 理学療法士 47人, 作業療法士 2人, 管理栄養士 11人, 保育士 9人, 理学療法士 2人, 作業療法士 1人, 管理栄養士 1人, 保育士 7人

◇目次◇

目次表
ご挨拶 2
世界の「共通目標」 3
こぎつねの郷の日常風景 3
やさと敬老会 4.5
鼓舞激励 6
『施設ケアマネージャーとして 目指すこと』 7



泰仁会ホームページ やさとブログ こぎつねの郷ブログ

デイサービス営業

デイサービスやさとは10月より年始を除き日曜日でも利用できるようになりました! 皆様のご利用をお待ちしております。

ご挨拶

社会福祉法人 泰仁会
理事長 菊地 丈夫

北の地から、紅葉の便りが届く秋の良き日を迎える今日この頃です。令和年号の遷り全世界を巻き込んでのコロナ感染症も一段落を見せてくれ、ホッとしている毎日です。

去る六月、創業理事長である江畑隆夫先生が、高齢につき引退したいとご家族より申し出がございました。私共理事に於ては終身理事長として、お仕えしたく思っておりましたが御意思が堅くお止めできず残念であります。そういった経緯の元、急遽理事会を開催し後継者として指名を受けました。

二十六年前に私共の社会福祉法人泰仁会は開設し現在に至っておりますが、理事長就任という重責と共にそれまでの歩みが脳裏に浮かび万感の思いが胸に込み広がりました。例えば江畑先生からの「八郷に住まれる皆様に、これまでの感謝を形にしてお返ししたい。老人ホームを創って皆様にあつてよかつた、いてよかつたと思われ施設を創りたい。協

知識、技術、人間性の研鑽をいたします。
五、泰仁会は職員的生活を保障し、健全な職場作りをします。

この理念の大切さを全職員に根気よく教え伝え続け、幾星霜を経てようやく浸透し、日ごろご利用者へのサービスの根柢に結び付けられるようになりました。江畑先生の想いを具現化したこの理念は、未来永劫変わることもなく我々の魂として引き継がれ、時代と共に進化し続けるものだと確信しております。

この二十六年間、江畑先生にお仕えしながら様々なことを学び、日進月歩ではありますが成長をさせて頂きました。江畑先生は我々経営陣が提案する新たな事業やサービスに対して全く反対の意見を言われないお方でした。「それが地域の人たちのためになることなら思い切り好きにやりなさい」そうおっしゃられることもありました。それだけ地域の皆様に常に想い、それがいかに大切であるかということをお教え頂きました。その理事長の想いをすべて受け継ぎ、ますます発展させていく所存であります。

地域の皆様は様々な困難に直面し、日々不安の中で生活をされております。疾病により体が不自由になられる方、認知症を患い日々の生活を思うように営めなくなられる方、そしてそういった方々を家庭内で介護をされるご家族の皆様。そして追い打ちをかけるが如く世界規模で蔓延した感染ウイルス。地域だけではなく、全世界が苦境に立たされているこの時代に、我々法人は地域の皆様とどう向き合い、共にこの困難な世界に立ち向かっていけるか、浅学非才な我が身ではありますが、江畑先生の想いと、これから泰仁会を背負って立つ高城、永山施設長をはじめ、恵まれた多くの人材と共にこれからの旅路を歩んでまいります。結びとなりますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



世界の「共通目標」



施設長 高城 裕

毎年恒例となっている経験年数に応じた階層別研修を、八月よりオンラインにて開始しています。職員を五つのグループに別け、十二月まで実施されます。参加する職員は、一日現場を離れ、各階層に沿った内容で学びます。研修の共通テーマは、経営理念です。経営理念の理解・浸透を深め、実践できる人材育成に取り組んでいます。特に、今回は法人の経営理念と持続可能な開発目標であるSDGsの関連性について理解を深めました。

世界では、様々な企業・団体によって、SDGsの課題解決に取り組み、持続可能な社会をつくる為、時代に求められることへチャレンジしています。また、教育現場においてもSDGsに関する授業も増え、将来の育成に力を入れています。

そして、何より社会福祉に関連する内容も含まれ、すでに私達が取り組んでいることも多くあり、経営理念との結びつきも深いと感じました。

社会福祉法人としても、地域共生社会の実現、永続的な地域貢献を目指すため取り

組んでいる法人が全国で増えていきます。私達も経営理念を実現するため、事業計画や中長期計画を実行していく中において、SDGsへの取り組みが必須な条件となっております。さらに、これからの地域社会やご利用者に必要とされる法人、職員が人として成長するためにも法人内外へのブランディングとして取り組みをPRすることは重要と考えます。

法人として、目標を掲げることで職員一人ひとりが、できる小さな取り組みを大切にしていきたくと思っております。そして、地域課題へ積極的に取り組み、地域から信頼され、無くてはならない存在として「あつてよかつた」「いてよかつた」という地域社会へ貢献して続けていきたい。



みんなでマラソン2021 準優勝!

こぎつねの郷の日常風景



秋のお散歩



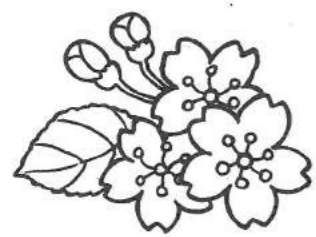
何をつくろうかな?



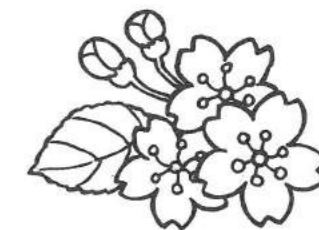
みんなでお絵かき



とっても美味しいお弁当



やさと敬老会



グループホームさわらび記念撮影



特養やさと敬老会



敬老会のあいさつ



デイサービス手形作成



百寿 野村とよ様



百寿 坂入桃子様



これからもお元気で



国府あおいビンゴ大会

泰仁会では新型コロナウイルス感染対策のため、
 敬老会をそれぞれの事業所で行いました。
 10月27日には石岡市長 谷島洋司様が来園され、
 100歳を迎えられた2名のご利用者へ長寿のお
 祝いが送られました。皆様おめでとうございます。
 これからもお元気で過ごしてください。

鼓舞激励



元氣 長直 人
桜の郷 施設 永山 直

平成十四年に茨城県が公募によつて、この地に特別養護老人ホームを開設希望する法人を募りました。当時の初代創業者である江畑隆夫理事長・菊地丈夫常務理事と共に、多くの法人と競り合い、知事より「運営事業者決定通知書」を受け取り、桜の郷元気の運営がスタートしました。みなさまに支えられながら、この十一月一日で十八年目の運営に入りました。本年六月には江畑隆夫理事長が引退され、あらたに菊地丈夫新理事長体制のもと、理事の一人でもある私は役員が一体となり、日々「泰仁会経営理念」を地域の方々や施設をご利用される皆様に「目に見える形」として、具現化

させられるようにと、この施設の将来像を描いています。いつぞやの「さわらび」にてもこの想いを綴りましたが、施設長は建築現場でいえば建築士・設計士でもあり、建物(将来像)を建てられない・設計図(夢)が描けない施設長は失格であると、自分自身に鼓舞激励する毎日です。そんな気合い(?)の入り過ぎていて自分とは違い、桜の郷元気のスタッフは、常に笑顔を忘れずにご利用されている皆さま方の支援にあたっています。

さて、今年度も桜の郷元気の事業計画の柱とした、「介護サービス検証委員会」も十月末迄の七ヶ月間で、ユニットに暮らす入居者の方々18名が、「要介護認定更新調査」の対象となり、「改善」(要介護状態が良くなる)が5名(27%)・「重度化予防」(要介護状態が変化なし・現状維持)が8名(44%)と合わせての判定で、71%の「改善率」(良い方向へ向かったと思われる)があったと判断しています。結果、自立(律)度が向上し、念願であったご自宅へ帰ることができた入居者様も毎年度おられます。我々介護施設の責務として、ご利用される方々の「自律支援」を一番の目標として、「自分たちの提供してい

る支援の効果は出ているのか。」とあくまでも追求・検証していかねばならないと考えています。高齢社会の「最後の砦」として社会が注視している事業ですから、特に入居をされた方々のご家族は、今迄精一杯頑張ってきたけれど……という皆さまも多いと思います。我々に「切なる願い」を託してくださいましたので、精一杯にお応えをしなければなりません。今、私はお会いした事もなく出版されている何冊かの著書で勉強しただけですが、多床室が基本であった特別養護老人ホームに、個室によるユニットケアやグループホームの制度化を中心となって推進した、建築家であった故・外山義先生の考えにもう一度立ち返って施設内を歩き始めました。数年前に桜の郷元

差②時間の落差③規則の落差④言葉⑤役割の喪失等、著書に記載されている「文言」を自分の心の中に置き換えて、「自分が暮らす施設」・「自分が利用する場所」として、施設の大規模改修には挑んでいきたいと考えています。「新型コロナウイルス」も第六波を想定すると気を抜けない毎日ですが、新年度事業においても感染症予防対策を第一の課題としなければなりません。私事になりますが半年前に、私をこの世界に導いてくれた一人でもある看護師であった伯母が他県の介護施設で亡くなりました。桜の郷元気で思っていたのですが、家族にとつては、近くの施設でという思いが強かったようです。亡くなった伯母は、昭和の終わりに起きた海上自衛隊潜水艦「なだしお」事件で夫を失いました。終末は認知症を患いましたが、伯母がよく口にしていたのが、「最後の日の朝、喧嘩したままで出かけてしまった。」という「二十三年前のあの日のこと」でした。生涯忘れられない日だったのでしょう。ここ数年、私自身も親族との別れが多くなってきました。施設のご利用者に想いを重ね合わせて過ごしている毎日です。

『施設ケアマネージャーと目指すこと』

谷 伸一郎
橋谷 春美



十月一日より施設の介護支援専門員として橋谷田ケアマネージャーが就任となりました。今まで一人体制で実務を行って参りましたが、今後は二人体制となり、より入居されている皆様、ご家族の皆様と関わりをもつて声をたくさん聴くことができよう足繁くお部屋を訪問させていただきます。コロナ禍でなかなかご家族様とお会いする機会が少ない状況ですが、今年度も数名のご家族様に入居者様の支援方法を決める話し合いにオンラインで参加いただくことができました。このような場で直接入居者様の思い等伺うことができることはとても貴重であると感じております。今後多職種でその思いにお応えできるよう一生懸命サポートさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

感謝の二周年

管理者 木下 成 哲



私たちの長岡も十月で二周年を迎え、三年目に入りました。そして令和四年一月から、デイサービスの利用定員を三十名にさせて頂く予定です。これも、地域の皆様のお力添えがあつてこそだと実感しております。



我々の使命は、地域に貢献する事、その為の「私たちの長岡」です。地域の皆様に「あつてよかった。」と思つて頂けるようにこれからも進んでまいります。